

NYマーケットレポート(2013年8月19日)

昨晚の外国為替市場は、独連銀が、インフレ圧力が増せば利上げの可能性を排除しないとの見解を示したことを受けて、欧州市場でユーロが主要通貨に対して上昇する動きとなりました。そして、NY市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、株価動向に左右される展開が続きました。序盤は、株価が上昇したことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなりました。しかし、その後はFOMCの議事録公開を控えて、米国の量的緩和の早期縮小観測を背景に株価が軟調な動きとなったことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、比較的安全資産とされる円がすべての主要通貨に対して上昇する動きとなりました。

2013/8/19 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	97.61	97.86	97.37
EUR/JPY	130.11	130.42	129.85
GBP/JPY	152.69	152.89	152.22
AUD/JPY	89.89	90.03	89.09
EUR/USD	1.3327	1.3341	1.3321

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	98.08	97.54
EUR/JPY	131.03	129.99
GBP/JPY	153.50	152.53
AUD/JPY	90.12	89.54
EUR/USD	1.3375	1.3324

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	13758.13	+1.12
ハンセン指数	22463.70	-54.11
上海総合	2085.60	+17.15
韓国総合指数	1917.64	-2.47
豪ASX200	5115.53	-1.33
インドSENSEX指数	18307.52	-290.66
シンガポールST指数	3173.33	-9.88

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6465.73	-34.26
仏CAC40	4083.98	-39.91
独DAX	8366.29	-25.65
ST欧州600	304.77	-1.59
西IBEX35指数	8657.10	-164.20
伊FTSE MIB指数	17243.25	-434.52
南ア 全株指数	42920.22	-121.89

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	97.57	98.13	97.48
EUR/JPY	130.14	130.96	130.02
GBP/JPY	152.72	153.58	152.59
AUD/JPY	88.93	89.79	88.85
NZD/JPY	78.75	79.55	78.64
EUR/USD	1.3338	1.3362	1.3337
AUD/USD	0.9114	0.9157	0.9103

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	15010.74	-70.73
S&P500	1646.06	-9.77
NASDAQ	3589.09	-13.69
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	12588.06	-148.86
ブラ ボルサ指数	41484.25	-565.45
ブラ ボベスパ指数	51574.09	+35.31

8/20 経済指標スケジュール
10:30 【豪】8月豪中銀議事録
12:00 【NZ】3Q RBNZインフレ期待
13:30 【日】6月全産業活動指数
14:30 【日】7月全国百貨店売上高
15:00 【日】7月生産者物価指数
16:00 【南ア】6月景気先行指数
16:00 【日】7月コンビニエンスストア売上高
16:30 【スウェーデン】2Q設備稼働率
17:00 【ノルウェー】2Q GDP
17:30 【香港】7月消費者物価指数
18:00 【欧】6月建設支出
20:00 【トルコ】政策金利発表
21:00 【ポーランド】7月鉱工業生産販売
21:00 【ポーランド】7月生産者物価指数
21:30 【米】7月シカゴ連銀全米活動指数
21:30 【カナダ】6月卸売売上高
22:00 【メキシコ】2Q GDP
22:00 【メキシコ】6月グローバル経済指標IGAE

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1365.70	-5.30
NY 原油	107.10	-0.36
CME コーン	493.25	+19.50
CBOT 大豆	1322.00	+38.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.35%	0.35%
3年債	0.74%	0.72%
5年債	1.60%	1.56%
7年債	2.27%	2.22%
10年債	2.88%	2.83%
30年債	3.90%	3.84%

主要会議・講演・その他予定

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

ここまでの動きドル/円の動き



(出所: ネットダニアー&ブルームバーグ)

- ①前週末に米長期金利が大幅に上昇したことを受け、日米の金利差が拡大するとの思惑を背景に堅調な展開で始まった。そして、日本の貿易収支で赤字額が予想を上回ったことを受けて円売りが優勢となった。
- ②プラス圏で始まった株価がマイナス圏に下落したことや、お盆休暇明けの国内企業のドル売り・円買いの動きから軟調な動きとなる。また、邦銀や米系銀行の円売りも出ていた。
- ③マイナス圏まで下落していた株価が引けにかけて堅調な動きとなったことから、円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなる。
- ④独連銀が、ECB の低金利維持表明は、金利引き上げの可能性を排除するものではないと指摘したことを受けて、ユーロが主要通貨に対して上昇となり、円が主要通貨に対して売られた。

21:00

ドル/円 97.99 ユーロ/円 130.81 ユーロ/ドル 1.3353

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

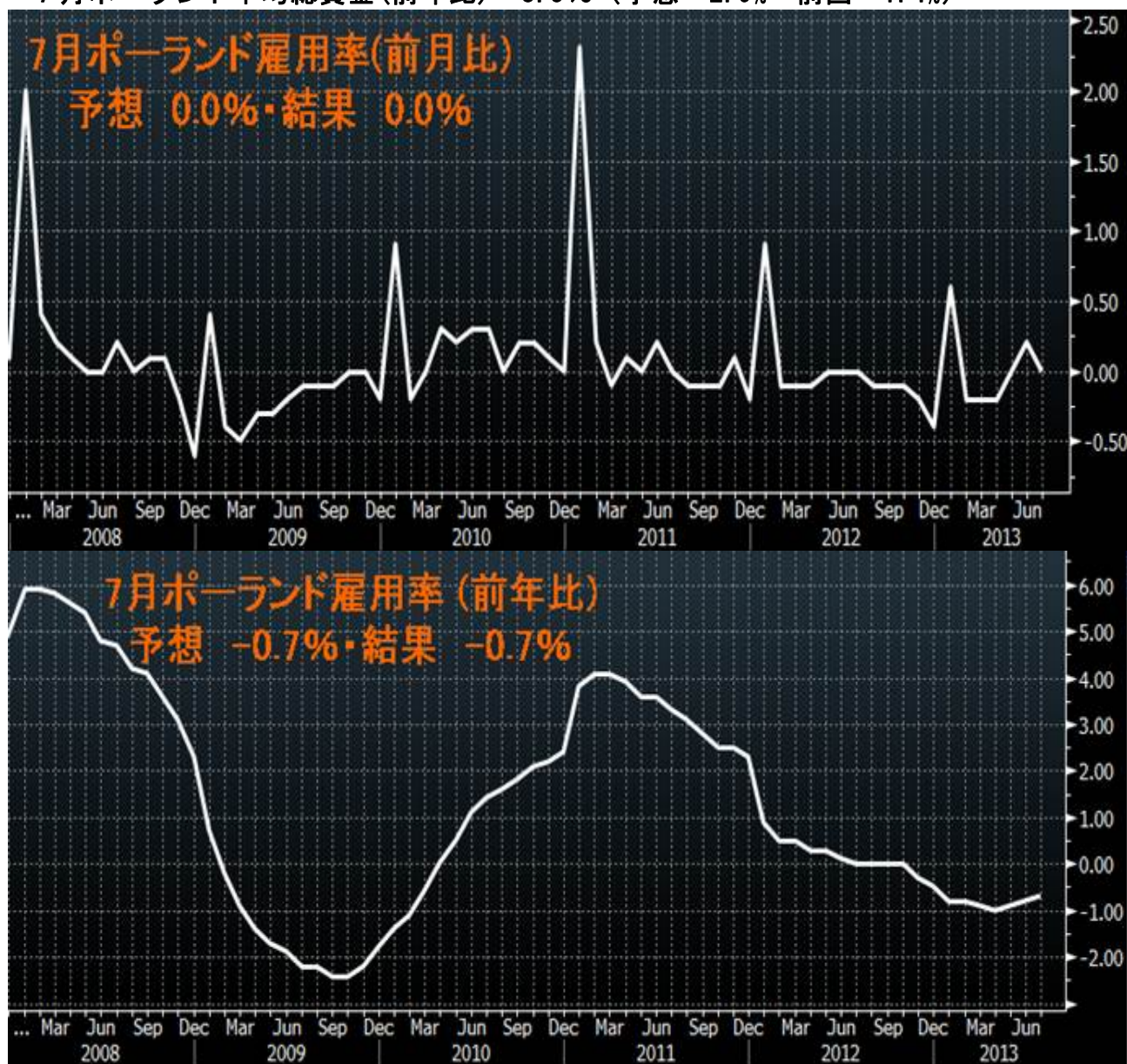
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6474.87	-25.12	ダウ INDEX FUTURE	15026	-12
仏 CAC40	4096.07	-27.82	S&P500 FUTURE	1649.20	-1.90
独 DAX	8372.34	-19.60	NASDAQ FUTURE	3070.75	+1.00

(出所: ブルームバーグ)

21 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

- ・ 7 月ポーランド雇用率(前月比) 0.0% (予想 0.0%・前回 0.2%)
- ・ 7 月ポーランド雇用率(前年比) -0.7% (予想 -0.7%・前回 -0.8%)
- ・ 7 月ポーランド平均総賃金(前月比) 0.6% (予想 -0.2%・前回 2.9%)
- ・ 7 月ポーランド平均総賃金(前年比) 3.5% (予想 2.9%・前回 1.4%)



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、主要な米国の経済指標の発表がなく、手掛かり材料難なことに加え、FOMC の議事録の内容を見極めたいとのムードが強く、積極的な売買が手控えられており、ドル円・クロス円はやや小動きの展開が続いている。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	15050.15	-31.32
ナスダック	3600.78	-2.00

(出所:ブルームバーグ)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、主要な米経済指標の発表がない中、積極的な売買は手控えられ、主要株価は小動きの展開が続いている。また、21 日の FOMC 議事録の内容から、量的緩和の縮小時期を探りたいとの思惑が強い。

0 : 00

FRB が大手銀行の資本計画についてリポートを公表

「FRB は、銀行は資本計画のガバナンス改善を」

《 海外の話題 》

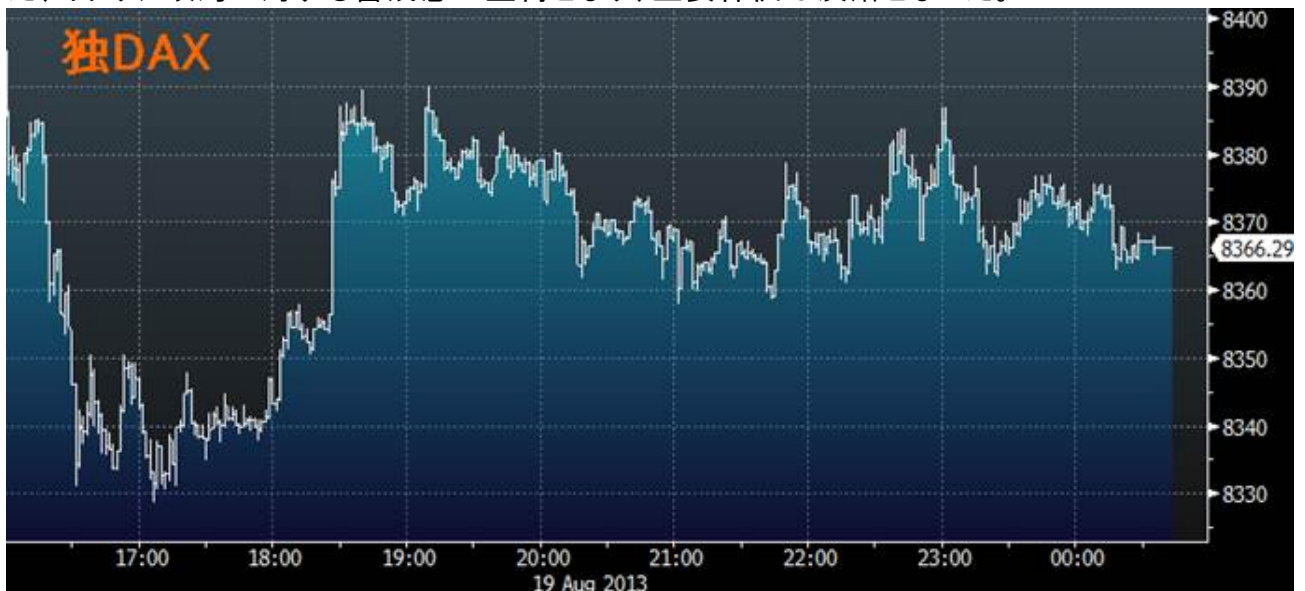
- ・トヨタ自動車、日産自動車、米 GM などの自動車メーカーが保有する南アフリカ共和国の工場では、約 3 万人の労働者が賃金引き上げなどを求めてストに突入し、操業に支障が出ている。南アフリカ全国金属労組は、「ストは今日から始まり、協議が物別れに終わって以来、交渉は行われていない。雇用者側からの再提示を待っている」と語った。
- ・トヨタ自動車や BMW、フォルクスワーゲン、ダイムラー、フォード・モーターなどの自動車メーカーにもストの影響が出ている。南アフリカ自動車工業会の試算によると、ストにより 1 日当たり 3000 台の生産が失われ、これに伴う業界の損失は最大で 7 億ランド (67 億 5100 万円) となる。

欧州主要株	終値	前日比
英 FT100	6465.73	-34.26
仏 CAC40	4083.98	-39.91
独 DAX	8366.29	-25.65
ストック欧州 600 指数	304.77	-1.59
ユーロファースト 300 指数	1224.26	-7.17
スペイン IBEX35 指数	8657.10	-164.20
イタリア FTSE MIB 指数	17243.25	-434.52
南ア アフリカ全株指数	42920.22	-121.89

(出所:ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、米FOMCの議事録の内容を見極めたいと積極的な買いは手控えられた。また、イタリア政局に対する警戒感が重荷となり、主要株価は反落となった。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 15068.15(-13.32)、 S&P500 1655.45(-0.38)、 ナスダック 3617.24(+14.46)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

・ 午前の債券市場は、主要な米経済指標の発表がなく手掛かり材料難の中、米量的緩和の早期縮小観測を背景とした売りが優勢となり、米長期金利の指標となる 10 年債利回りは一時 2.875%まで上昇し、2011 年 7 月以来約 2 年 1 ヶ月ぶりの高水準となった。

・ 午前の利回りは、30 年債が 3.87% (前週末 3.85%)、10 年債が 2.86% (2.82%)、7 年債が 2.26% (2.26%)、5 年債が 1.60% (1.56%)、3 年債が 0.74% (0.72%)、2 年債が 0.35% (0.54%)。

《欧州のポイント》

①ECBは低金利維持を言明しているものの、インフレ圧力が増せば利上げもあり得ると、独中銀が、月報で指摘した。独連銀は、ECBのコミットメントについて、「強制力のあるものではなく、政策の変更を意味するものでもない」とし、「フォワードガイダンスはより強いインフレ圧力が顕在化した場合の政策金利引き上げの道を断つものではない」と解説した。

ドラギ ECB 総裁は、政策金利が長期にわたり現行またはそれ以下の水準にとどまると言明したが、独連銀は「このコメントが条件付きであることは明白だ」とし、ECBの不変の責務である物価安定維持が条件だと説明。「従って、ユーロシステムのフォワードガイダンスは政策金利の将来の動向に関する無条件の約束ではない」と強調した。

②ドイツの4-6月期成長率は+0.7%と、1-3月期のゼロ成長や2012年10-12月期の-0.5%から回復した。独連銀はドイツの経済成長が年内に「正常化し安定する」との見通しも示した。今年の成長率を+0.3%、来年を+1.5%と予想している。

独連銀は、月報で「4-6月期の高い成長率は1-3月期の停滞との関連において捉える必要がある」とした上で、「経済活動が春季に大幅に活発化したことは、ドイツ経済が生産能力の正常な活用に戻ったことを意味する」との認識を示した。

また、月報で、ドイツの人口高齢化が2010年代の半ばから同国財政に影響し始めるため、債務圧縮を2017年から開始し成長を減速させないメルケル首相の計画は追加リスクを織り込む必要があると指摘した。独連銀はそのほか、ユーロ圏債務危機からの新たな負担や金融取引税からの税収が想定と異なる可能性のリスクを挙げた

③スペイン中銀のデータによると、銀行の不良債権比率が5月の11.21%や前年同月の9.65%を上回り、11.61%に上昇し過去最悪を更新したことが明らかとなった。景気低迷の中で延滞や不履行が増えたことが要因となった。金額ベースでは1764億ユーロ（約23兆円）と、前月から62億1000万ユーロ増えた。

④オランダの4-6月期GDP速報値は、前期比-0.2%と4期連続のマイナス成長となった。失業率の悪化や住宅バブルの崩壊で景気が低迷、また、ルッテ首相がEUの債務危機対策で財政緊縮を進めたことも影響した。ユーロ圏の4-6月期のGDP速報値は+0.3%と7四半期ぶりにプラス成長となり、オランダの回復の遅れが浮き彫りとなった。

域内で経済規模が5位のオランダは、2008年から住宅価格が急落し、個人消費も低迷。2008年11月に3.0%だった失業率は今年7月に7.0%になった。財政緊縮が経済縮小に拍車を掛けたが、まだユーロ圏の財政赤字基準を満たせておらず、欧州委員会は2014年度予算で60億ユーロ（約7800億円）規模の赤字の追加削減を要求している。

米格付け会社は、オランダの債務格付けを最上級の「Aaa」から引き下げる可能性がある」と指摘した。オランダの債務水準が今後3-4年の間に安定し低下し始めると予想しているとし、これがない場合は格下げの引き金となり得ると指摘した。

《ここまでの動き》



(出所: ネットダニアー&ブルームバーグ)

- ①米国の主要な経済指標の発表がなく、21日のFOMCの議事録を見極めたいとの思惑もあり、序盤は小動きの展開が続いた。
- ②取引材料に乏しい中、株価動向に反応する展開が続いており、株価が堅調な動きとなったことを受けて、円が売られる流れとなった。
- ③その後も株価動向に左右される展開が続いており、株価が一段の下げとなったことから、ドル/円も一段の下落となった。また、テクニカル的なポイントA、Bを下抜けたことから、モデル系、リアル系などの売りも入り、一段の下げとなっている。また、クロス円も一段の下げとなり、円が主要通貨に対して上昇している。

《 欧州債券市場 》

欧州債市場は、米金融当局が緩和策を縮小するとの観測で、世界的な景気回復の見通しが暗くなったことを背景に、イタリア国債が下落。また、スペインとオランダ、ベルギーの国債も下げた。

イタリア10年債利回りは前週末比9bp上昇の4.28%、スペイン10年債利回りは5bp上昇の4.41%となった。また、ドイツ10年債利回りは2bp上昇の1.90%。一時は1.92%と、2012年3月27日以来の高水準に達した。一方、英国債は英産業連盟が経済見通しを上方修正したことを手掛かりに、安全資産を求める動きが後退し、英国債相場は6営業日続落となった。10年債利回りは、前週末比4bp上昇の2.75%と、2011年8月8日以来の高水準となった。

3 : 30

NY 金は、中心限月が前週末比 5.30 ドル安の 1 オンス＝1365.70 ドルで取引を終了した。

4 : 10

NY 原油は、中心限月が前週末比 0.36 ドル安の 1 バレル＝107.10 ドルで取引を終了した。

要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1365.70	-5.30
NY 原油	107.10	-0.36

(出所:ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

NY 金は、米経済指標の発表がないなど材料に乏しい中、米 FOMC 議事録公表を控えて量的緩和の早期縮小への警戒感が高まり、利益確定する売りが優勢となった。中心限月は、4 営業日ぶりに反落となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、前週末まで続伸した反動で、利益確定売りが優勢となった。ただ、エジプト情勢の悪化で中東原油の供給に支障が出るとの懸念を背景に買いも入り、下げ幅は限定的となった。中心限月は、7営業日ぶりに反落となった。



（出所：ブルームバーグ）

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15010.74	-70.73	15106.39	15005.42
S&P500 種	1646.06	-9.77	1659.18	1645.84
ナスダック	3589.09	-13.69	3623.48	3589.04

（出所：ブルームバーグ）

《米株式市場》

米株式市場は、主要な米経済指標の発表がない中、積極的な売買は手控えられ、主要株価は小動きの展開で始まった。ただ、21日のFOMC議事録の内容から量的緩和の縮小時期に関する思惑などから、午後に入ると主要株価は軟調な展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤は堅調な動きも見られたものの、その後は軟調な展開が続いた。



（出所：ブルームバーグ）

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	97.57	98.13	97.48
EUR/JPY	130.14	130.96	130.02
GBP/JPY	152.72	153.58	152.59
AUD/JPY	88.93	89.79	88.85
NZD/JPY	78.75	79.55	78.64
EUR/USD	1.3338	1.3362	1.3337
AUD/USD	0.9114	0.9157	0.9103

(出所:ブルームバーグ)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、やや材料に乏しい中、株価が堅調な動きとなったことから、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、その後、株価が軟調な動きとなったことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなり、円が大半の主要通貨に対して上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。